

**「お客さま本位の業務運営  
(フィデューシャリー・デューティー)」  
に関する取組方針に基づく主な取組状況**

**2025年11月  
播州信用金庫**



**播州信用金庫**

## 顧客本位の業務運営に関わる方針の策定・公表

---

当金庫では「地域の皆様に奉仕すること」を経営理念に掲げ、お客さまに安全・安心を提供するとともに、お客さまの「ひろがる夢とたしかな未来」の実現が最善の利益と考えております。

当金庫では、公共的使命を有する金融機関人として行動する際に遵守すべき基本原則である「行動規範」を制定し、職員ひとりひとりが高い倫理観を持って、お客さまに対して公正・誠実に向き合うことができる職員育成に努めております。

# 1. お客様の最善の利益の追求

## <取組方針>

- ① 金融機関として高い専門性と職業倫理をもってお客様の最善の利益を図るべく、適切な金融商品・各種サービスをお客様にご理解いただける形で提案してまいります。  
【原則2本文】
- ② お客様とのコミュニケーションを通じ、お客様の知識・経験・財産の状況・取引目的等をしっかり把握したうえでライフプランに応じた適切な金融商品・各種サービスの提供を行ってまいります。【原則6注1】
- ③ 安定的な資産形成を実現していくために「長期」「積立」「分散」の提案に努めてまいります。【原則2注】

## <取組状況>

- ① お客様の最善の利益を追求するためお客様のニーズやご意向を確認し、時間をかけてヒアリングを行っています。【原則2本文】
- ② 各エリアにCA（チーフアドバイザー：保険・投信販売業務専担者）を配置し、営業店職員との同席・面談等によりお客様に最適な商品の提供を行っています【原則2注】
- ③ 質の高い金融サービスの提供に資する専門性の高い職員を育成するため、職務に関する資格取得を奨励するとともに、様々な研修を実施しております。【原則2注】

# 1. お客さまの最善の利益の追求

## 投資信託販売上位10銘柄

〔2024年度〕

ファンド名	販売額 シェア	毎月 分配型
しんきんインデックスファンド225	32.60%	
しんきんS&P500インデックスファンド	8.20%	
インデックスファンドNASDAQ100	6.40%	
グローバルロボティクス株式ファンド	5.20%	
ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（スペース革命）	4.60%	
三井住友NYダウジョーンズインデックスファンド	3.90%	
たわらノーロード先進国株式	3.40%	
netWINGSテクノロジー株式ファンド（為替ヘッジなし）	3.00%	
たわらノーロードS&P500	2.80%	
しんきん日経平均オープン	2.60%	
その他	27.30%	

〔2023年度〕

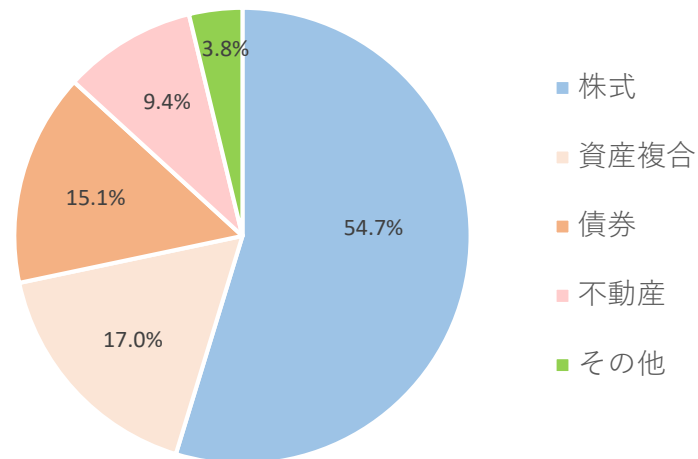
ファンド名	販売額 シェア	毎月 分配型
しんきんインデックスファンド225	21.10%	
グローバルロボティクス株式ファンド	12.30%	
三井住友NYダウジョーンズインデックスファンド	10.50%	
SMTグローバル株式インデックスオープン	6.10%	
インデックスファンドNASDAQ100	5.80%	
新光US-REITオープン（ゼウス）	3.70%	○
しんきん日経平均オープン	3.20%	
たわらノーロード先進国株式	3.10%	
ワールドビューティオープン（為替ヘッジなし）	3.00%	
ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（スペース革命）	2.70%	
その他	28.50%	

※ 長期積立分散投資の提案に努めることにより、販売上位銘柄には、毎月分配型やREITなど、長期で安定的な資産形成に適さないファンドは少なく、より適した内外株式やインデックス型のファンドが多くなっています。

# 1. お客様の最善の利益の追求

## 投資信託商品ラインナップ(2024年度)

		商品数	構成比	
株式	株式国内	7	13.2%	54.7%
	株式内外	9	17.0%	
	株式海外	13	24.5%	
資産複合	資産複合国内	2	3.8%	17.0%
	資産複合内外	7	13.2%	
	資産複合海外	0	0.0%	
債券	債券国内	0	0.0%	15.1%
	債券内外	2	3.8%	
	債券海外	6	11.3%	
不動産	リート国内	2	3.8%	9.4%
	リート内外	1	1.9%	
	リート海外	2	3.8%	
その他	その他内外	2	3.8%	3.8%
合計		53	100.0%	



# 1. お客様の最善の利益の追求

## つみたて投信の契約件数

(金額：百万円)

	2022年度	2023年度	2024年度
契約件数	1,524	1,935	2,369
掛込金額	28.6	37.8	47.8

※ 長期積立分散投資の提案に努めることにより、つみたて投信の契約件数等は、着実に増えていきます。

## 平均保有期間

(年)

	2022年度	2023年度	2024年度
平均保有期間	6.42	2.86	3.55

※ 長期積立分散投資の提案に努めることにより、平均保有期間は長期化の傾向にあります。  
(2023年度に短期化した要因は、2024年新NISA開始に伴い、制度上旧NISAからのロールオーバーが出来ないため、新NISAに移行する際に一時的に解約が増加したためです。)

## 2. 利益相反の適切な管理

---

### <取組方針>

- ① お客様の利益が害されることがないように、お客さまとの取引について利益相反管理を適切に行ってまいります。【原則3本文】
- ② 金融商品の販売時には、販売手数料の多寡にかかわらず、お客さまのご意向にあった適切な商品の提案を行ってまいります。【原則3注】
- ③ 別に公表しております「利益相反管理方針の概要」に沿って、お客様の利益が害されることがないように適切に利益相反管理を行ってまいります。【原則3本文】

### <取組状況>

- ① 当金庫は、『利益相反管理方針の概要』をホームページにて公表しており、「利益相反管理方針」を遵守し、お客様の利益が不当に害されることがないように適切な管理を行ってまいります。【原則3本文】  
▶ [https://shinkin.co.jp/banshin/kanri\\_houshin/](https://shinkin.co.jp/banshin/kanri_houshin/)
- ② 投資信託の商品選定については、純資産総額及びスターレーティングを基準に選定しており特定の投資信託運用会社、保険会社の商品に偏った選定を行っておりません。また販売についても、特定の商品に偏った販売を行うことがないように、商品ごとの業績評価を同一にする等管理体制を徹底しています。【原則3注】
- ③ 融資先に対しては事前に本部管理部署に承認を得てからご提案を行っており、適切な販売が行なえる体制をとっています。【原則3注】

### 3. 手数料の明確化

#### <取組方針>

- ① お客さまにご負担いただく手数料やその他費用について、その手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、分かりやすく説明してまいります。【原則4本文】
- ② お客さまにご負担いただく手数料の他に保険会社等から当金庫に支払われる手数料についても分かりやすく説明するよう努めてまいります。【原則4本文】

#### <取組状況>

- ① 投資信託の手数料開示状況  
各商品のパンフレットおよび目論見書に加え、当金庫の取扱全商品の購入時手数料・信託報酬等の諸費用を一覧で確認できるように「投資信託商品ラインアップ」を作成のうえ、配布し、提案時にはどのようなサービスの対価かも含め、分かりやすく説明しております。  
【原則4本文】
- ② 外貨建保険の手数料開示状況  
商品概要書にて販売時やその他にかかる手数料について、どのようなサービスの対価かも含め、説明しております。【原則4本文】



投資信託商品ラインアップ

## 4. 重要な情報の分かりやすい説明

### <取組方針>

- ① 金融商品を販売する際、お客さまの知識・経験等に配慮したうえで、重要情報シート等を用いて同種商品との比較が容易になるように、分かりやすく丁寧な説明を行ってまいります。  
【原則5注3】 【原則5注4】
- ② 経済環境や市場動向等の変化、お客さまのライフプランやご意向の変化に応じて必要な情報の提供を行いアフターフォローの充実に努めてまいります。【原則6注1】
- ③ 「リスク・リターン」、「取引条件」等の重要な情報は、販売用資料やホームページ画面を用いて重要性に応じた見せ方の工夫を行い、お客さまの知識・経験等に照らして分かりやすく誤解を招くことがない誠実な内容の情報提供に努めてまいります。  
【原則5本文】 【原則5注1】 【原則5注5】
- ④ 経済環境や市場動向等の変化、お客さまのライフプランやご意向の変化に応じて金融取引に関する基本的な知識を得られるための必要な情報の提供を行い、セミナーの開催など、アフターフォローの充実に努めてまいります。【原則6注5】
- ⑤ 当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、それぞれの重要な情報についても分かりやすく説明してまいります。【原則5注2】

### <取組状況>

- ① 平易な言葉による重要な情報の説明  
当金庫職員による金融商品提案時における説明、またパンフレットやホームページについては分かりやすい表現を心掛け、特に重要な情報についてお客さまの理解が深まるように努めます。【原則5本文】 【原則5注3】

## 4. 重要な情報の分かりやすい説明

### <取組状況>

#### ② アフターフォローの実施

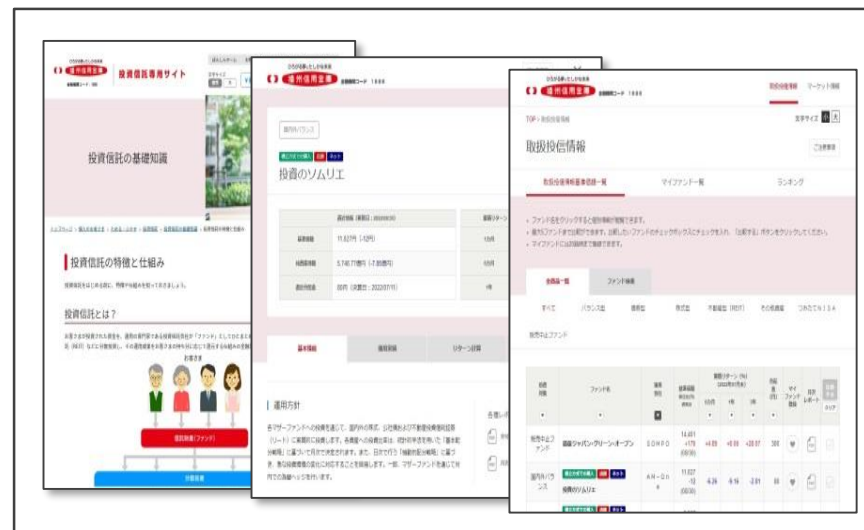
1年に一度、支店担当者がお客さまとの面談、架電によりアフターフォローを行っており、現在の状況、市場動向等、お客さまに分かりやすい情報提供や説明を行っています。また、アフターフォロー時には、お客さまのライフプランやご意向の変化を捉え、その変化に応じて必要な情報の提供を行います。【原則5注5】 【原則6注1】

#### ③ 重要情報シートの活用

重要情報シートをホームページ上で掲載しており、お客さまに対しリスクとリターンとの関係等を、他の商品との比較を容易にすることで、さらに分かりやすく説明できるよう体制整備を行います。【原則5注4】

#### ④ 投資信託専用サイトの設置

ホームページ内に『投資信託専用サイト』を設け、投資信託の『特徴や仕組み』『リスクとリターンの考え方』『NISA・つみたてNISAの制度内容』等の情報を提供しています。また、当金庫取扱商品のラインアップを掲載し、各ファンドのリスク・リターンを含む特徴や運用実績、目論見書を閲覧できるようにしたうえ、重要な情報は画面を拡大して説明するなどの工夫をしています。【原則5注1】 【原則5注5】



## 4. 重要な情報の分かりやすい説明

---

### <取組状況>

- ⑤ 投資信託と定期預金のセット商品の取扱について  
当金庫では、投資信託とセットでお預け頂ける特別金利定期預金「ばんしん資産運用セットプラン」を取扱しております。投資信託ご購入のお客さまで定期預金の預け入れを希望された方に限り提供しております。また「ばんしん資産運用セットプラン」を販売する際には、お客さまの属性、投資経験等に応じた販売を行っています。【原則5注2】 【原則6注2】
  
- ⑥ その他、当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、それぞれの重要な情報についてもわかりやすく説明してまいります。【原則5注2】

## 5. お客様にふさわしいサービスの提供

### <取組方針>

- ① お客様の資産状況・取引経験・知識および取引目的・ご意向等をお聞きしたうえで ライフプランを踏まえたコンサルティングを行ない、お客様にふさわしい金融商品・各種サービスのご提案を行ってまいります。なお、商品の選定に際しては、商品の組成会社におけるプロダクトガバナンスに関する取組みの把握にも努め、それを商品選定等にも活用してまいります。  
【原則6注1】 【原則6注7】
- ② お客様の多様なニーズに応え、最適な商品を選択いただけるよう商品ラインアップの充実に努めてまいります。【原則6本文】
- ③ 取扱商品に関する「組成会社が販売対象として想定する顧客属性」を十分に理解すると共に当金庫のリスク分類との整合性等を検証のうえ、お客様一人ひとりの適合性を十分に把握したうえで真のニーズに合致した適切な提案、説明を行います。【原則6注3】
- ④ 投資経験の少ないお客様やご高齢のお客様には、商品特性・リスクを十分に理解していただくため、より丁寧で分かりやすい説明を行ってまいります。【原則6注4】
- ⑤ 当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨を行う場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、そのお客様にふさわしいかどうかを留意した上で行います。【原則6注2】

## 5. お客さまにふさわしいサービスの提供

### <取組方針>

- ⑥ 金融商品の販売後においては、組成会社とも協力のうえ、想定する顧客属性と実際に購入したお客さまの属性の乖離を検証してまいります。そして検証した結果、及びお客様の反応・苦情等の情報について、組成会社と情報連携し、取扱商品のラインアップや販売方法の見直しに活用してまいります。【原則6注6】

### <取組状況>

- ① 充実の商品ラインアップ  
投資信託ファンド53銘柄、保険商品12商品を取り揃え、お客さまのニーズに合った金融商品、サービスを提供しています。【原則6本文】
- ② ご高齢の方・投資経験が初めてのお客さまへの対応について  
ご高齢のお客さまへの商品提案にあたっては、複数回面談、ご家族への相談・同席をおすすめしています。また、投資経験が初めてのお客さまについても複数回面談を推奨し、お客様が熟考しご理解頂いた上での販売に努めています。【原則6注4】
- ③ マネープランガイドによるご提案について  
お客さまの貯蓄状況やライフプラン、資産形成の目的を認識し、お客さまのライフプランに適した金融商品として、そのリスク・商品毎の内容や特徴をご説明するために、金融取引の基本的な知識から学べるツールである『マネープランガイド』を活用しご案内しております。  
【原則6注1】 【原則6注5】

## 5. お客さまにふさわしいサービスの提供

### <取組状況>

- ④ アフターフォローの充実  
経済環境や市場動向等の変化、お客さまのライフプランやご意向の変化に応じて金融取引に関する基本的な知識を得られるための必要な情報の提供を行い、アフターフォローの充実に努めてまいります。【原則6注1】
- ⑤ 当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨を行う場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、そのお客さまにふさわしいかどうかを留意した上で行います。【原則6注2】

注※ 2025年12月に、取組方針5. お客さまにふさわしいサービスの提供 ①③⑥の改定を行いました。この改定を踏まえた取組状況として、販売会社の立場から、組成会社を中心とする製販全体としてのプロダクトガバナンス体制をサポートしてまいります。サポート体制整備の時期については、「取組方針5. ⑥に関する、2025年12月以降の業界団体作成フォーマットを利用した組成会社との情報連携」の開始を一つの目途と考えております。

【取組方針、取組状況：補充原則1～5】 【取組状況：原則6注3】 【取組状況：原則6注6】  
【取組状況：原則6注7】

## 6. 役職員に対する適切な動機付けの枠組み等

### <取組方針>

- ① 「お客さま本位の業務運営」を行うために、職員研修の実施や販売態勢の整備を行い、役職員がお客さま本位の考え方を理解し、実践するよう取り組んでまいります。【原則7本文】
- ② お客さま本位の考え方を定着させるため、研修等を通じて役職員に本取組方針の理解と実践を促してまいります。【原則7本文】
- ③ お客さまの多様なニーズにお応えするために商品・投資環境に関する知識の習得やコンサルティング能力等の向上に努めてまいります。【原則7注】
- ④ お客さま本位の業務運営を行うため、従業員の業績評価体制の見直し等に努めてまいります。【原則7本文】

### <取組状況>

- ① 金融商品全般および当金庫取扱商品への理解を深めるための取組  
投資信託販売会社・保険会社が開催するWeb研修を随時受講し、金融商品の基礎知識および当金庫取扱商品に関する理解を深め、お客さまの意向に沿った商品のご案内に役立てています。【原則7本文】

## 6. 役職員に対する適切な動機付けの枠組み等

---

### <取組状況>

#### ② 専門資格取得に向けた取組み

お客さまの資産状況・ライフプラン・ニーズに合わせたマネープランを立案・アドバイスができるように、F P 技能検定1級取得の推進を行っており、2023年度はF P 1級 1名が合格し、当金庫のF P 1級有資格者は2名となっています。

また、F P 技能検定2級取得を推奨しており、2025年3月末のF P 2級取得者は186名となっております。【原則7本文】

#### ③ eラーニングシステムの導入等による知識習得機会の提供

お客さまの多様なニーズにお応えするために商品・投資環境に関する知識の習得やコンサルティング能力等の向上に努めてまいります。【原則7注】

# 投資信託の預り残高上位20銘柄

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン	残高 (百万円)
1	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	0.93%	2.77%	-1.02%	1,029
2	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	0.75%	15.32%	21.83%	1,020
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	1.94%	19.68%	20.51%	992
4	グローバルSDGs株式ファンド	1.70%	12.35%	17.29%	706
5	SMT グローバル株式インデックス・オープン	0.55%	15.24%	23.76%	679
6	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.05%	10.73%	3.21%	508
7	新光 US-REIT オープン	1.69%	16.16%	12.28%	508
8	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.76%	3.61%	-1.60%	428
9	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%	374
10	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.38%	6.38%	2.49%	284
11	投資のソムリエ	1.55%	4.03%	-2.16%	275
12	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	1.85%	14.78%	19.32%	274
13	しんきんインデックスファンド225	0.88%	15.64%	14.38%	273
14	AI（人工知能）活用型世界株ファンド	1.59%	15.33%	22.27%	235
15	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	0.93%	2.77%	-1.02%	225
16	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	1.90%	17.14%	21.85%	224
17	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	0.14%	8.14%	10.48%	186
18	しんきん好配当利回り株ファンド	1.10%	11.80%	18.10%	178
19	ゴールド・ファンド（為替ヘッジあり）	0.41%	14.59%	9.05%	167
20	ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）	1.81%	13.21%	8.30%	152
	上位20銘柄の残高加重平均	1.16%	12.08%	13.00%	

# 「お客さま本位の業務運営に関する取組状況」について

以下の定量指標（自主的KPI）について定期的にモニタリング・改善を行うことで、お客さまの中長期的な金融資産の増大を実現し、お客さまの高い満足と信頼を獲得することを目指します。

## ① 生命保険販売上位3商品

〔2024年度〕

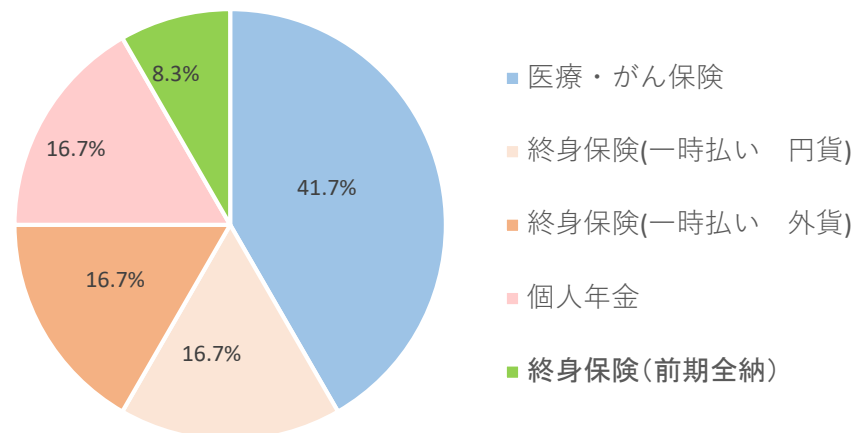
商品名	種類	
	一時払	外貨建
たのしみグローバルⅢ	一時払	外貨建
ふるはーとJグローバルⅢ	一時払	外貨建
しんきんらいふ終身FS	一時払	円貨建

〔2023年度〕

商品名	種類	
	一時払	外貨建
たのしみグローバルⅢ	一時払	外貨建
ふるはーとJグローバルⅡ	一時払	外貨建
しんきんらいふ終身FS	一時払	円貨建

## ② 生命保険商品ラインナップ（2024年度）

	商品数	構成比
医療・がん保険	5	41.7%
終身保険(一時払い 円貨)	2	16.7%
終身保険(一時払い 外貨)	2	16.7%
個人年金	2	16.7%
終身保険(前期全納)	1	8.3%
合計	12	100.0%



### ③ 終身保険の外貨建、円貨建の販売比率（2024年度）

	円貨建	外貨建	合計
販売比率	66.2%	33.8%	100.0%

### ④ NISA口座契約数

	2022年度	2023年度	2024年度
口座数	1,877	2,148	2,296

### ⑤ 投資信託販売額

(金額：百万円)

	2022年度	2023年度	2024年度
販売額	1,900	2,587	3,218

### ⑥ 人材育成の状況

#### ■ 外部専門資格取得状況

(人)

		2024年度
証券外務員資格		772
生命保険募集人資格	一般	730
	専門	471
	外貨建	359
損保募集人資格		787